



第29回全国都市緑化フェア TOKYO メイン会場 (上野恩賜公園会場・井の頭恩賜公園会場)

第29回全国都市緑化フェア TOKYO 会場設計業務

株式会社ブレック研究所・株式会社ヘッズ東京支店・株式会社ライフ計画事務所・株式会社グラック共同提案体
株式会社ブレック研究所 石垣良弘・棚瀬新一朗・石原聡子，株式会社ヘッズ東京支店 加藤 修・加藤茂男
株式会社ライフ計画事務所 村岡政子・金子隆行・加藤直人，株式会社グラック 北川明介・白井浩司・剣田和良

平成24年9月29日から30日間、1984年以来28年ぶりに東京で2回目となる全国都市緑化フェアが開催された。

当共同体は、「第29回全国都市緑化フェア TOKYO」メイン会場6会場のうち、上野恩賜公園会場・井の頭恩賜公園会場を中心とした会場設計を行った。

“緑の風がふきぬける東京”をテーマに、各会場の特性を活かして緑や花の美しさや楽しさを来場者に提供すると共に、緑の文化力や花・緑に関わる技術の継承発展への寄与に配慮しつつ、展示・出展、花壇修景

等の会場整備に関わる技術的な検討を行った。また、イベント会場としての機能を確保するため、会場運営・行催事・広報宣伝担当と調整を図り、基本設計・実施設計として取りまとめた。

□上野恩賜公園会場

ー「多様な文化と芸術の風」

多様な文化と芸術を育んできた上野、東日本の玄関口としての上野という「場所性」に焦点をあて、地球や自然への感謝の気持ちと、復興への祈りをテーマと



上野恩賜公園会場鳥瞰図



上野恩賜公園会場



上野恩賜公園会場



上野恩賜公園会場「七曜の庭」
地球や自然の恵みを体感する小庭園群



上野恩賜公園会場「下町の庭」
江戸東京の情緒あふれる賑わい空間として演出

作品概要

作品名：第29回全国都市緑化フェア TOKYO メイン会場（上野恩賜公園会場・井の頭恩賜公園会場）
 所在地：上野恩賜公園会場（東京都台東区）、井の頭恩賜公園会場（東京都武蔵野市・三鷹市）等
 発注：第29回全国都市緑化フェア TOKYO 実行委員会
 設計：第29回全国都市緑化フェア TOKYO 会場設計業務株式会社ブレイク研究所・株式会社ヘッズ東京支店・株式会社ライブ計画事務所・株式会社グラック共同提案体
 設計協力：株式会社クロスポイント（上野恩賜公園会場「農の庭」(浦井史郎 東京都市大学教授 監修) 担当）
 監理：第29回全国都市緑化フェア TOKYO 実行委員会（工事監督）
 第29回全国都市緑化フェア TOKYO 会場設計業務株式会社ブレイク研究所・株式会社ヘッズ東京支店・株式会社ライブ計画事務所・株式会社グラック共同提案体（工事監督補助、植栽監理、出展調整）
 施工：上野恩賜公園会場：野崎・田中建設共同企業体、アゴラ造園株式会社
 井の頭恩賜公園会場：加勢・緑建・第一建設共同企業体、保谷・桜井建設共同企業体
 設計期間：平成23年8月～平成24年3月
 施工期間：平成24年6月～平成24年12月
 規模：上野恩賜公園会場：約53.9ha、井の頭恩賜公園会場：約40.5ha
 主要施設：展示・出展施設、修景花壇、飲食・物販施設、休憩施設、管理施設

作品評

この作品は、平成24年9月29日から30日間にわたり、東京都で開催された「第29回全国都市緑化フェア TOKYO」のメイン会場6会場のうち、上野恩賜公園と井の頭恩賜公園の会場設計を行ったものである。

緑化フェアのテーマ“緑の風がふきぬける東京”のもと、各会場の特色付けがなされた。特に上野恩賜公園では、芸術文化の発信地や東北の玄関口としての立地を活かし、既存空間にとけ込んだアートや被災地東北への復興支援を打ち出した農の風景などが展開された。また、井の頭恩賜公園では、既存林に囲まれたロケーションを活かし、周辺住宅地のニーズをうまく取り込んだ、食とアートを楽しむライフスタイルを体験できるガーデンなどで構成された。

このように立地特性を活用して個性化を図り、地元と親和した演出や多様な主体との連携が特に評価され、総合的に見ても最も高い評価を得て最優秀賞となった。

本作品は、今後の公園の活用方法や運営管理の方向性を示唆しているものと言え、来場者には、一過性のイベントというよりも新たな公園像としての親しみをもって受け止められたことであろう。

した庭園等で会場を構成した。

噴水広場を核に様々な文化・芸術が集う「竹の台エリア」と江戸東京下町の風情が薫る「不忍池エリア」を中心に、それぞれのエリアの特徴を活かし、ダイナミックな花とみどりの造形による「驚き」と自然の恵みへの「再発見」を通じて、多くの人々の参加によるみどり豊かなまちづくりを提案した。

□井の頭恩賜公園会場

—「ふれあいとにぎわい、交流の風」

豊かな秋の武蔵野の景・吉祥寺という武蔵野の街を

代表する「場所性」に焦点をあて、武蔵野らしさ、豊かな秋の実りなどを五感で感じることができる会場とした。

都市緑化の様々な活動を行っている人々を巻き込み、繋がりながら、緑のムーブメントとして大きく機運を醸成していく拠点として、参加型のイベント会場づくりを行い、美しい花や緑のガーデン環境の中で様々な「幸せ体験」ができる、実りの秋の季節に相応しい「エディブル」をテーマとした、新しい都市緑化・新しい都市のライフスタイルを提案した。



井の頭恩賜公園会場「香・癒・実の庭」
 ガーデンショップ、カフェを併設し、香りや実のある植物を中心に構成したガーデン



井の頭恩賜公園会場「子供だけの庭」
 樹木や木材などの素材をテーマとした、様々な遊びを通じて学習できるガーデン



井の頭恩賜公園会場鳥瞰図

井の頭恩賜公園会場

